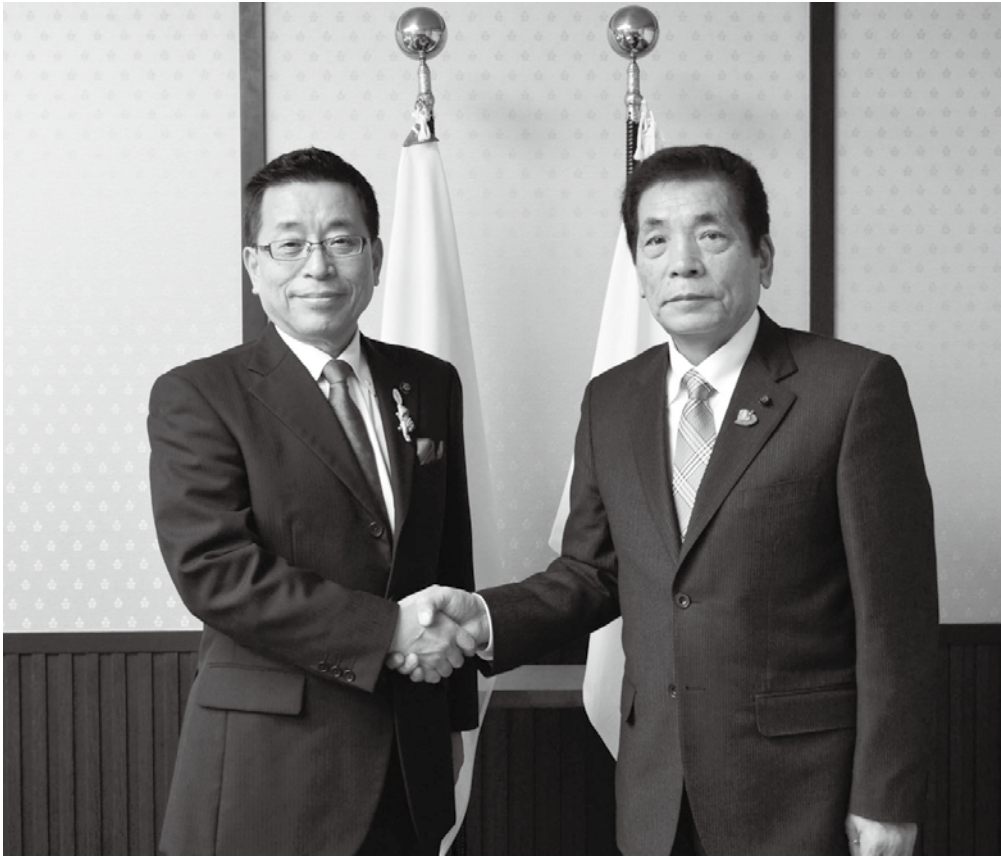


新春対談

市長と議長

高山市を語る

1月1日から放送されたケーブルテレビの市政情報番組『ハイ、市役所です』で、國島市長と島田議長が対談しましたので、その内容を紹介します。



くにしまみちひろ
國島芳明 市長

昭和25年1月15日生まれの65歳
平成22年9月に第10代高山市長に就任（2期目）

しまだまさご
島田政吾 議長

昭和20年11月10日生まれの70歳
平成26年5月に第81代高山市議会議長に就任

平成26年を振り返る

―まず、昨年一年間を振り返っていただきます。

市長 自然の猛威を見せつけられた一年でした。マイマイガの大量発生、8月の豪雨、9月の御嶽山噴火、クマの大量出没、12月の豪雪など、自然と私たち人間がいかに共存をしていくかをあらためて考えさせられた一年でした。

市民の皆様が安全で安心した生活を送ることができるよう、昨年の経験を生かしていかなければと思っています。

議長 そうですね。自然の猛威は地球規模なのか、と心配しました。そのたび災害対策本部を立ち上げられ、ご苦労があったと思います。

―一方で外国人観光客宿泊数の増加など、明るい話題もあります。

市長 最終確定ではありませんが、過去最高となる25万人を超える見込みです。市内で食事をした時に、周りのお客様の多くが外国人ということが何度もありました。

議長 観光で町が潤っています。古い町並や陣屋だけを見て帰る通過型観光地の懸念がありました。外国

人観光客が市内を広く散策するおかげで、日本人観光客も市内各所を散策されるようになりました。

市長 国府では外国人が自転車で走っている姿を見かけます。

議長 電線地中化もあって、町の魅力が高まりました。

市長 ええ、電線地中化した下町については伝統的建造物群保存のまちづくりも進めておられ、多くの観光客が訪れていますね。

―昨年はフランス・アルザス州のコルマールと経済・観光協定を締結しました。

市長 民間団体が行った地酒とワインのコラボレーションがきっかけで交流がはじまり、市同士も経済・



▲コルマール市で経済・観光協力協定を締結（平成26年11月7日）